

『アーモンド』

人の痛みや感情がわからないというのは、良いことだと思う。日々、自分や他人の感情にふりまわされている人にとっては。

でも、本当にわからないとしたら？ 怖い、危ないがわからないと、熱いやかんでヤケドをしてもまたさわってしまうし、猛犬にも手を出してしまう。可哀想がわからないと、友だちがころんで泣いていても、じっと立っているだけ。他人とのコミュニケーションで「薄情な人」扱いをされてしまうのだ。

主人公は、中学3年の冬、目の前で通り魔に肉親を殺された。でも彼は感情がうまく表せなかった。泣けなかった。だって彼は「薄情な人」だったから。

そんな衝撃的な出来事にも、感情が動かなかった彼が、「感情をもちたい」と思ったきっかけもまた人とは違うものだった。それは・・・

チャンピオン青少年文学賞（第10回）、本屋大賞翻訳小説部門（2020年）受賞作品

ソン・ウォンピョン/著 矢島暁子/訳（祥伝社）

◇ 家 うち 読 とく しませんか ◇

16歳～18歳 版

SNS もいいけど、外に出にくい今が、読書チャンス！

この機会に、まずは1冊。

手に取って読み始めてみませんか？

読書のまち“高島”
本の楽しみをすべての子どもに



オリンピックも1年延びたし、 まだ間に合うよね？

こがく
語学チャレンジ！

『6か国語で貼って伝わる文例 200』

ユーキャンインバウンド研究会/編

(ユーキャン学び出版)

『3語でできる

オリンピック&パラリンピック英会話』

カン・アンドリュー・ハシモト/著

(DHC)

ほぼ この世界は何だ！？

『じわじわ気になる100字の小説』

180ページのこの本には130のお話が入っている。その全部がタイトルにあるように、“ほぼ”100文字で書かれています。手のひらサイズとコンパクトな小説だが、読み始めたらクセになると同時に達成感も味わえる1冊。！

その正体は何だ！？

その先には何が？ の2冊も合わせて読んでみてください。きっと、100文字とは思えない、充実した読書になるはず！

北野勇作/著 (キノブックス)